

第3章 地域ごとの計画
Ⅱ 片山・岸部地域

第1節 まちづくりの基本方向と計画

	基本方向	計画
① その周辺 片山公園と	<p>地域に集積している福祉、保健、医療の関係施設や機関の連携を深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。</p> <p>片山公園と周辺に整備されている公共施設を生かし、市民の交流広場づくりを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 総合福祉会館、保健センター、子ども家庭センターや社会福祉協議会など福祉、保健、医療の関係施設や機関の集積を生かし、拠点としての機能を高めます。 ● 片山公園を緑の拠点とし、周辺に整備されている図書館や市民会館、体育館などの資源を生かし、集いと憩いの交流広場づくりを進めます。
② とその周辺 紫金山公園	<p>地域に点在する歴史・文化資源や自然を生かし、地域文化の創造や、歴史・文化・自然のネットワークの形成に努め、魅力あるまちづくりを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 旧街道沿いや吉志部神社への参道を、個性ある景観として継承・育成し、歩いて楽しめる道として活用します。 ● 地域に残されている歴史的なまちなみを生かしたまちづくりを市民の協力の下で進めます。 ● 紫金山公園一帯の自然や歴史・文化環境を保全し、市民の交流を広げる場とします。また、博物館を活用し、身近な地域の歴史・文化を学ぶ機会の創出に努めます。
③ とその周辺 大阪学院大学	<p>地域の人と大学や学生との交流を深め、岸辺駅と正雀駅が近接する交通至便な立地特性を生かした、にぎわいと活気のあるまちづくりを進めます。大学を地域資源として生かし、地域文化を育みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 商業者との協働により、学生と地域の交流の場の充実に努め、にぎわいと活気のある商業地づくりを進めます。 ● 大学の施設開放やまちづくりへの参加などを促進し、市民の学習環境の充実と市民文化の振興を図ります。 ● 大学の専門的研究機能や情報発信機能、学生の潜在能力やエネルギーを地域文化の発展とまちづくりに生かせるよう、大学との連携事業を推進します。
④ この地域全体	<p>子どもや高齢者など、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。</p> <p>防災性の向上や、緑化の推進などに努め、生活環境の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民が活用できる広域的なコミュニティ施設を整備するとともに、活動の場や情報の提供などを通じ、コミュニティ活動を支援し、住民同士の交流を促進します。 ● 地域における支え合いのネットワークの形成に向けて、地域の相談・支援窓口や民生委員・児童委員、ボランティア等の連携を進めます。 ● 木造建築物が密集する地区では、建築物の不燃化・耐震化や生活道路の整備改善、敷地内の緑化誘導を図ります。 ● 公園整備やまちの緑化に努めます。また、ポケットパークなど身近なオープンスペースの確保に努めます。 ● <u>交通の不便な地域での移動手段について検討します。</u> ● 豊中岸部線、千里丘豊津線、南千里岸部線の事業に伴う街路樹の植栽など周辺環境整備に努めます。 ● 浸水被害の発生地域では、雨水施設の能力増強の整備を計画的に進め、被害の軽減に努めます。また、雨水施設の未整備地域では、その効率的な整備に努めます。 ● 吹田操車場跡地の整備については、地域の新しい未来を切り開くまちづくりに向けて、市民、事業者の参画の下で、協働により取り組みます。 ● 岸辺駅周辺の整備については、地域の特性を生かした、魅力あるまちづくりに向けて、市民、事業者の参画の下で、協働により取り組みます。 ● <u>日常生活の利便性に配慮した商店街の活性化とともに、店舗を活用した地域交流を促進します。</u>